

CIO レポート
特集

CIO が直面する トップ 3 の疑問に 応える

全社的な生成 AI の拡張、
AI 投資の最適化、
サイバー脅威への備え

本レポートについて

CIO は、企業における AI の拡張から、変動するクラウド利用の制御、巧妙化が進むサイバー脅威に対する防御など、複数の課題が同時に押し寄せる大きなプレッシャーに直面しています。

本レポートでは、CIO から現在 Gartner に寄せられている主な質問を取り上げ、今後1年間をうまく乗り切るための実行可能なインサイトをご紹介します。

CIO から Gartner に寄せられる質問トップ 3：



生成 AI と自動化を企業全体へ適切に展開するにはどうすればよいか



AI クラウドへの投資を最適化し、コストを効果的に管理するにはどうすればよいか



AI を利用した攻撃など、巧妙化が進むサイバー脅威から組織を守るにはどうすればよいか

CIO からの質問

生成 AI と自動化を 企業全体へ適切に 展開するには どうすればよいか

**72%**

CEO の 72% が AI を成長の主要な推進力と捉えており、CIO には全社的な AI 価値の実現を加速させる新たなプレッシャーがかかっている

**71%**

CIO の 71% が、測定可能なビジネス成果につながる AI ユースケースの優先順位付けに苦慮している

**83%**

CEO の 83% が AI への投資を拡大している。一方で、多くの企業は試行段階から本番規模での価値創出へ移行できず、AI 活用の進展が停滞している

**59%**

AI 施策の 59% は本番運用に到達できず、全社的に大きな価値が未実現のまま残されている

CIO から Gartner に寄せられた 他の関連する質問：

1. 生成 AI ソリューションを拡張する際に、どのような戦略を採用すればデータのプライバシーとセキュリティを確保できるか
2. 生成 AI 施策と組織全体のデジタル・トランスフォーメーション (DX) 戦略を整合させるにはどうすればよいか
3. 生成 AI がビジネス成果や組織文化にもたらす長期的な影響をどのようにモニタリングして評価できるか

「Gartner のアナリストとのやりとりは、私にとって非常に価値のある経験の一つです。彼らの専門知識とインサイトは、当社がデジタル施策を策定し、生成 AI の導入を高度に最適化する上で役立ちました」

Süleyman Tosun, IT Strategy & Governance Director
Aydem Holding A.S.

[お客様事例を読む（英語）](#)

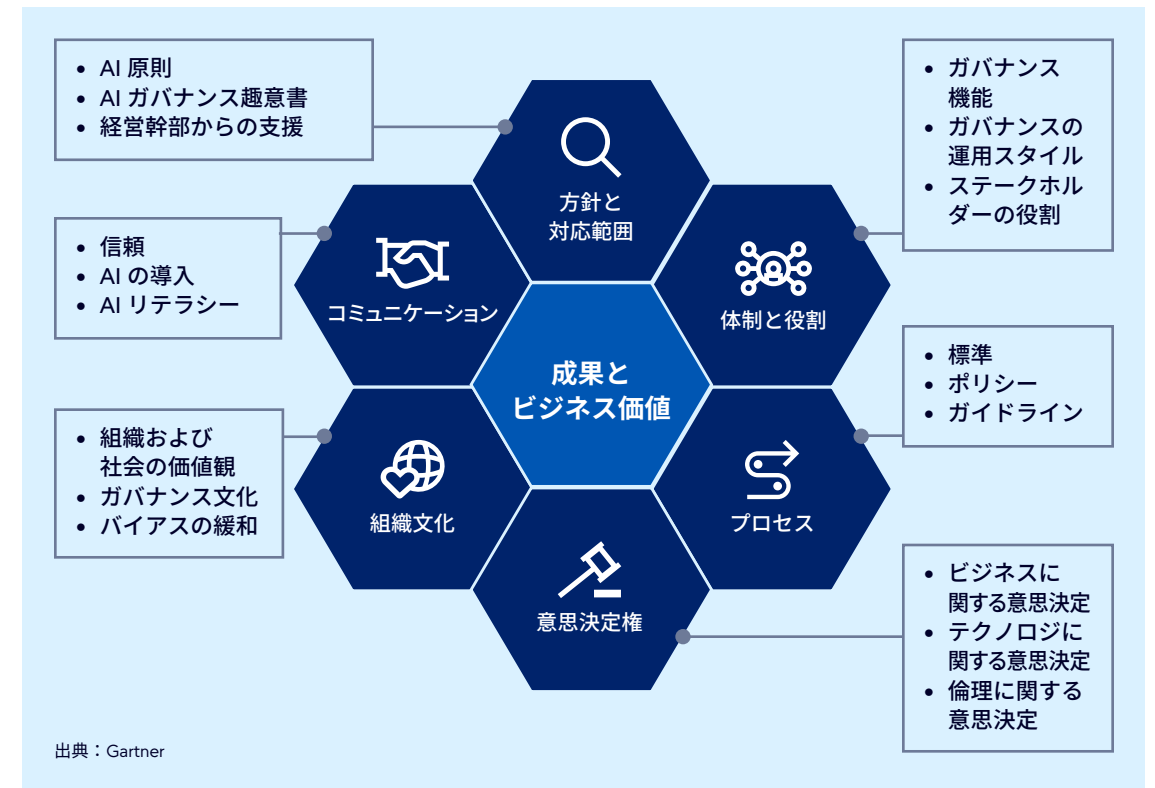
プラットフォームを統一し、価値創出を優先し、ガバナンスを組み込むことで、生成 AI の全社展開を実現する

大半の企業や組織は、依然としてインパクトの大きいユースケースの優先順位付けに苦慮しています。CIO は、断片的な AI の試験運用から、統一されたエンタプライズ・プラットフォームへと早急に移行し、ボトルネックを解消して、拡張可能な価値提供を実現する必要があります。

AI への投資は加速していますが、**本番運用まで到達できない施策は 59% に上ります**。CIO には、実行のスピードが遅かったり、焦点が定まっていなかったりする余裕はありません。生成 AI の全社展開を実現するには、リスクとコストの増大や規制面の要求の高まりに対応できる、適応型ガバナンスが必要になります。長期的な価値の低下を避けるには、AI を進化し続けるプロダクトとして扱い、継続的にモニタリング、改良、改善しなければなりません。

CIO はまた、活動量ではなく成果を測定し、AI をコスト、収益、生産性に直接結び付ける必要があります。決断力を持って行動する CIO は、AI の目標を企業レベルの収益へと転換できます。一方、そうでない CIO は、AI の価値ギャップが広がるにつれて大きく後れを取るリスクがあります。

共通のガバナンス・フレームワークを AI に拡大：どこに注力すべきか



Gartner が CIO と連携して、生成 AI と自動化を企業全体へ適切に展開する方法

ステップ	期待される成果	Gartner による支援
1. リーダー層とステークホルダーを連携させる	断片化を抑えた統一的な AI のビジョン	• エグゼクティブ パートナーがファシリテーターとして、連携のためのワークショップを実施する • Gartner の経営幹部向けプレゼンテーションを活用し、C レベル幹部にブリーフィングを行う • Gartner Peer Community™ を活用し、同業他社との比較を行う
2. 価値の高いユースケースを優先させる	エビデンスに基づき、ROI と整合した AI ポートフォリオ	• AI Use Case Insights を活用し、AI ユースケースの発見、評価、優先順位付けを行う • AskGartner を活用し、影響を迅速に検討する • AI 成熟度評価を実施し、準備状況を検証する
3. ガバナンスとリスク管理を構築する	責任ある AI 導入とコンプライアンスの確保	• AI ガバナンス・アクセラレータを導入する • アナリストへのインクワイアリー・サービスを利用して、TRISM (トラスト／リスク／セキュリティ・マネジメント) について問い合わせる • Gartner のテンプレートやツールキットを使用してガバナンスを体系化する
4. エンタプライズ AI プラットフォームを通じて計画を立て、拡張する	リスクを軽減しながら、価値実現までの時間を短縮	• Gartner のロードマップ・テンプレートを適用する • エグゼクティブ パートナーを活用して、試験運用の基準とリスクのしきい値を体系化する • Gartner Peer Insights™ のユースケースを用いてアプローチを比較する
5. 成果を測定し、改良する	AI の価値の実証と継続的改善	• AI 成熟度評価を実施し、進捗状況を追跡する • AskGartner を使用して、需要に応じた KPI や次のステップを確認する • エグゼクティブ パートナーと協力して、取締役会に対して価値のストーリーを説明する

→ Gartner のエグゼクティブ パートナーがお客様の目標達成をご支援いたします。詳細については、[こちらからお問い合わせください](#)。

 主要なリーダーシップの役割

対象リーダーと必要なアクション：生成 AI を適切に 企業全体へ展開する

リーダーシップ・グループ	主体	必要なアクション
企業の AI 戦略	• CIO	AI のビジョン、ガバナンス、プラットフォームに関する意思決定と価値の評価指標について責任を負う
データ、アーキテクチャ、プラットフォーム	• CDAO (最高データ/アナリティクス責任者) • EA (エンタプライズ・アーキテクト) リーダー • I&O リーダー	データの準備状況、統合パターン、インフラストラクチャのキャパシティ、将来のアーキテクチャとの整合性を確認する
ガバナンス、リスク、セキュリティ	• CISO (最高情報セキュリティ責任者) • 法務/コンプライアンス・リーダー	TRISM を導入し、モデルのセキュリティ、透明性、規制面/倫理面の整合性を高める
AI のデリバリーと拡張	• SWE (ソフトウェア・エンジニアリング) / アプリケーション・リーダー • PPM (プロジェクト/ポートフォリオ管理) リーダー	AI 対応アプリケーションを構築し、試験導入を運用化し、導入状況と成果について追跡する
ビジネス・プロセス/成果	• COO (最高執行責任者) • 事業部門リーダー	ワークフローを再設計し、導入を促し、拡張した AI がビジネスにもたらすインパクトについて共同で責任を負う
資金調達と投資	• CFO (最高財務責任者) • 調達リーダー	AI の財務、ROI フレームワーク、テクノロジー/ベンダー・エコシステムに関する意思決定を統制する
ワークフォースと変革	• CHRO (最高人事責任者) • CIO	AI リテラシー、リスクリング、ワークフォースの準備、チェンジ・マネジメントを主導する
全社的な連携	• CEO	リーダー層全体で AI に関する連携を維持し、AI が企業戦略を支えるようにする

AI クラウドへの 投資を最適化し、 コストを効果的に 管理するには どうすればよいか

**81%**

企業の 81% が、2026 年に AI への投資拡大を計画している。一方で、支出のスピードは従来の予算策定を上回っている

**14%**

従来型 IT 支出の 14% は CIO 予算の外で発生しており、AI やクラウド利用の見えない支出につながっている

**25%**

事業部門の従業員の 25% が、現在テクノロジー関連業務を担っている。これにより、AI クラウドのコストが分散し、把握しにくくなっている

**63%**

CIO の 63% は、2027 年までに財務上の説明責任に対する要求が高まると予想している。管理されていない AI クラウド利用は、戦略的リスクとなる

CIO から Gartner に寄せられた 他の関連する質問：

1. AI クラウドの支出の非効率をどのように見極め、解消できるか
2. AI クラウドのコストをモニタリングして制御するには、どのようなツールや評価指標を使用すべきか
3. AI クラウドの費用を予測して予算を策定するためのベスト・プラクティスは何か

「大型契約を進めるにあたり、Gartner のコスト最適化チームを活用し、その契約で 100 万ドルを節減できました」

**Dalen Copeland, Vice President,
Digital Technology, EDF Renewables**

[お客様事例を読む（英語）](#)

コストを戦略的かつ継続的に管理する規律として捉え、AI クラウド投資を最適化する

AI の利用が加速し、支出が分散して企業全体に死角が生じている中で、CIO は単発的なクラウド・コストの管理から脱却し、戦略的かつ継続的な規律へと移行する必要があります。

AI 投資の拡大を計画している企業は 81% に上りますが、動的で予測不可能なクラウド利用が予算を圧迫し、ROI を分かりにくくしています。 CIO はこれに対応するために、AI とクラウドへの支出すべてを可視化し、FinOps とガバナンスを統合し、IT 部門と事業部門全体にわたってリアルタイムで説明責任を徹底させる必要があります。

また CIO は、費用対効果を高めるために、モデルの規模の適正化、過剰利用の抑制、プラットフォームの統合など、エンジニアリング関連の選択を最適化する必要があります。

最後に、節約できた資金はすべて、企業の競争力を強化するために、価値の高いデジタル／ AI 投資へと戦略的に振り向ける必要があります。成長を促す手段としてコストをうまく活用できれば、迅速な拡張が可能になりますが、事後的なコスト削減に頼っていると、後れを取ることになります。

Gartner の戦略的コスト最適化フレームワーク



Gartner が CIO と連携して、AI クラウドへの投資を最適化し、コストを効果的に管理する方法

ステップ	期待される成果	Gartner がサポートするアクション
1. AI とクラウドへの支出を全体的に可視化する	IT 部門、事業部門、シャドー支出を横断した、全社のクラウド／AI 利用状況の統合的な把握	• Budget & Efficiency Benchmark を使用し、見えにくい支出やコスト増加要因を明らかにする • AskGartner を活用して、コスト要因や優先順位付けに関するインサイトを速やかに得る • Gartner の経営幹部向けプレゼンテーションを活用し、透明性のニーズについてリーダー層の認識を一致させる
2. 継続的な FinOps とガバナンスのモデルを導入する	リアルタイムのコスト管理と価値損失の低減	• Gartner の FinOps ／クラウド・ガバナンス・アクセラレータを導入する • アナリストへのインクワイアリー・サービスを利用して、利用のポリシーとタグ付けの標準を定める • Gartner のツールキット を適用し、FinOps をクラウド／AI フレームワークに統合する
3. アーキテクチャ、エンジニアリング、ユニット・エコノミクスを最適化する	より適切なエンジニアリングの判断により、クラウド／AI のコストを削減	• Gartner のベスト・プラクティスを活用し、モデル、ストレージ、GPU/CPU 構成を適正化する • Peer Insights を活用して、クラウド・プロバイダーの価格設定やアーキテクチャを比較する • AI Use Case Insights を活用して、価値の低いユースケースへの過剰なエンジニアリングを回避する
4. IT 部門と事業部門全体で需要に関する規律を強化する	過剰利用を減らし、リソースの利用を効率化	• エグゼクティブ パートナー がファシリテーターとして、部門横断的なコスト・オーナーシップに関するワークショップを実施する • Gartner のシナリオ・プランニング・テンプレートを適用し、しきい値とトリガーを設定する • Gartner のベンチマーク を活用して、利用率と効率性の目標設定に役立てる
5. 削減したコストを、価値の高いデジタル／AI 投資へと再配分する	全社 AI ／変革施策に向けた、持続可能で戦略的な資金確保	• Gartner の ROI ／価値フレームワーク を使用して、再投資の候補を見極める • エグゼクティブ パートナー と連携し、取締役会向けの価値のストーリーを作成する • Gartner のロードマップ を活用し、資金調達した施策を加速させる

→ Gartner のエグゼクティブ パートナーがお客様の目標達成をご支援いたします。詳細については、[こちらからお問い合わせください](#)。

 主要なリーダーシップの役割

対象リーダーと必要なアクション：AI クラウドへの投資を最適化してコストを管理する

リーダーシップ・グループ	主体	必要なアクション
コスト戦略とガバナンス	• CIO	継続的なコスト管理の規律を主導し、支出を戦略と整合させ、IT 部門と事業部門全体で透明性と説明責任を徹底する
財務の監督と価値の実現	• CFO	ROI フレームワークの責任を共同で担い、資金調達モデルを検証し、クラウド／AI 投資に関する全社的な経済的規律を確認する
クラウド・アーキテクチャ／SWE／アプリケーション・リーダー	• I&O リーダー • EA リーダー • SWE／アプリケーション・リーダー	アーキテクチャの最適化、リソースの適正化、無駄の排除、AI ワークロードに対するインフラストラクチャの準備を行う
クラウド利用のガバナンス	• FinOps／調達／ベンダー管理リーダー	クラウド／AI の利用状況を追跡・統制し、契約について交渉し、過剰利用を減らし、タグ付け／ポリシー／統制を徹底する
運用への定着と効率化	• COO • 事業部門リーダー	分散したテクノロジー支出を管理し、規律ある利用慣行を定着させ、CIO と連携してシャドー利用を防止する
データ、可視性、レポート作成	• CDAO • 財務アナリティクス・リーダー	意思決定のために、支出を一元的に可視化し、コスト増加要因、ベンチマーク、インサイトを提供する
ワークフォースとチェンジ・マネジメント	• CHRO • CIO	FinOps とクラウド・コストのリテラシーを高め、新たな行動様式を定着させ、利用に関する規律の浸透を促す
全社的な連携と説明責任	• CEO	成長を促す手段としてコストを捉えることに関し、リーダー層の認識を常に一致させ、価値に見合った支出に対する全社的な責任を徹底させる

AI を用いた攻撃など、 巧妙化が進む サイバー脅威から 組織を守るには どうすればよいか



93%

非執行取締役の 93% が、サイバーセキュリティを株主価値への脅威と見なしている。そのため、防御態勢の確かさ（ディフェンシビリティ）が最優先課題となっている



77%

CIO の 77% が、自律型テクノロジーの拡張を妨げる最大の障壁として、セキュリティとリスクを挙げている



80%

2028 年までに、ネットワーク検知／対応ソリューションの 80% が統合テレメトリと自動対応を組み込むようになり、先を見据えた防御への期待が高まる



2,490 億ドル → 3,400 億ドル

2026 年から 2029 年にかけて見込まれる、サイバーセキュリティ市場の成長。脅威の急速な進化と、投資圧力の高まりが反映されている

CIO から Gartner に寄せられた 他の関連する質問：

1. 新たに出現する AI を悪用したサイバー脅威を、先制的に検知して対応するにはどうすればよいか
2. 高度なサイバー攻撃から防御するために、どのようなセキュリティ・フレームワークやベスト・プラクティスを採用すべきか
3. AI と自動化を活用して、組織のサイバー防御をどのように強化できるか

「サイバー防御センターの設立をはじめ、セキュリティ分野の戦略策定における Gartner の支援は、当社の成功に大きく貢献しました」

Jochen Borenich
Member of the Executive Board, Cancom

[お客様事例を読む（英語）](#)

事後対応型の防御から、ビジネスと連携した先回りのサイバー・レジリエンスへ移行し、企業を守る

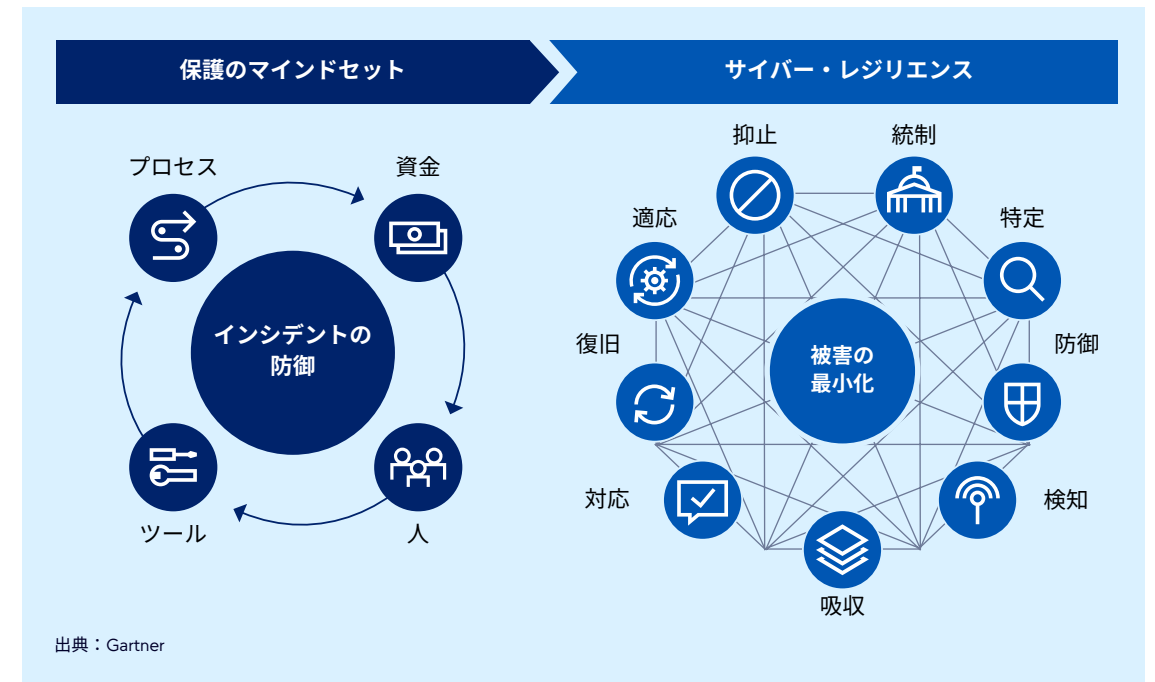
AI を利用した脅威が加速し、攻撃対象範囲が拡大する中、CIO は事後的なセキュリティから、インテリジェンス主導の先制的なサイバー・レジリエンスへと移行しなければなりません。

非執行取締役の 93% が、サイバーセキュリティを株主価値に対する脅威と認識していることから、CIO はセキュリティ保護を、技術的な機能ではなく戦略的なビジネス成果として取り扱う必要があります。

CIO は、自律型攻撃に対応し続けるために、セキュリティ基盤を近代化し、テレメトリを統合し、対応を自動化することに加え、AI 特有のリスクを企業のガバナンスに組み込む必要があります。ディープフェイク、組み込み型 AI、シャドー AI が蔓延する中、継続的なモニタリングとアダプティブなコントロールは不可欠です。

また CIO は、保護レベルに関する期待を明確にし、リスク許容度、投資レベル、対応の責任に関してリーダー層の認識を一致させる必要もあります。ビジネスと連携した先制的なアプローチを採用している CIO は、信頼を維持し、収益を保護し、AI を活用した成長を実現できますが、そうでない CIO は構造的なリスクの増大に直面することになります。

Gartner のサイバー・レジリエンス・フレームワーク



Gartner が CIO と連携して、サイバーセキュリティを強化し、AI を利用した脅威から防御する方法

ステップ	期待される成果	Gartner による支援
1. セキュリティ態勢と AI 脅威環境を評価する	脆弱性、シャドー AI、構造的なリスクについての明確な理解	• Cybersecurity Business Value Benchmark を使用して、保護レベルのベースライン評価を行う • AskGartner を活用して、脅威に関するインサイトを即座に得る • アナリストへのインクワイアリ・サービスを利用して、AI リスク・シナリオについて問い合わせる
2. AI 対応の最新のサイバーセキュリティ基盤を構築する	自律型ワークフローをサポートする、最新のアーキテクチャとコントロール	• メッシュ・ベースのアーキテクチャ・フレームワークを導入する • セキュリティ・アクセラレータを適用し、アイデンティティ・ファーストとゼロトラストの設計を実現する • Gartner のテンプレートを使用して、保護レベル合意 (PLA) を文書化する
3. 高度な検知機能を導入し、自律的に対応できるようにする	迅速な検知、潜伏期間の短縮、封じ込めの自動化	• アナリストへのインクワイアリ・サービスを利用して、NDR (ネットワーク検知／対応) や EDR (エンドポイントでの検知／対応) のソリューションについて問い合わせる • テレメトリ統合に関して Gartner のロードマップを適用する • 対応策のパフォーマンスについて、同業他社に対するベンチマーク評価を実施する
4. 共有ガバナンスとセキュリティの説明責任を確立する	リスク許容度、レポート作成、エスカレーションに関する全社的な連携	• エグゼクティブ パートナーがファシリテーターとして、部門横断的なサイバーセキュリティ審議会を開く • 取締役会の連携のために、Gartner の経営幹部向けプレゼンテーションを使用する • 成果主導型の評価指標 (ODM) を適用して価値を伝える
5. 防御策を継続的にテストし、学習し、適応させる	新たな攻撃に対応する、進化し続けるレジリエントな防御態勢	• 敵対的な AI テスト手法を活用する • 脅威インテリジェンスのフィードや Gartner のインサイトを活用してパターンを追跡する • ODM と PLA を定期的に更新する

→ Gartner のエグゼクティブ パートナーがお客様の目標達成をご支援いたします。詳細については、[こちらからお問い合わせください](#)。

 主要なリーダーシップの役割

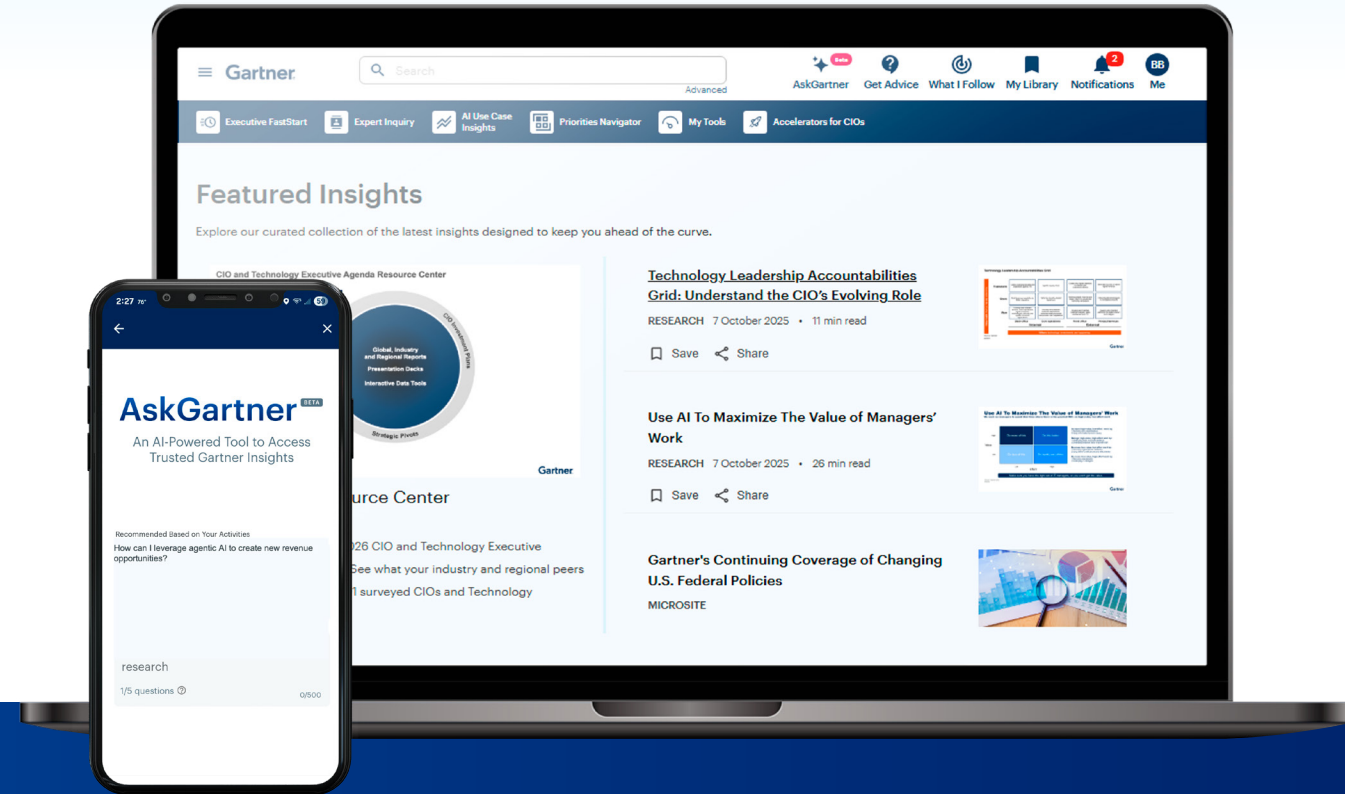
対象リーダーと必要なアクション：サイバーセキュリティを強化し、AI を利用した脅威から防御する

リーダーシップ・グループ	主体	必要なアクション
サイバーセキュリティ戦略と連携	• CIO • CISO	サイバーセキュリティ戦略を策定し、保護レベルをビジネス成果と整合させ、取締役会へのメッセージを統一する
脅威検知／対応	• セキュリティ・オペレーション／I&O リーダー	テレメトリを導入し、検知を自動化し、対応業務を管理し、インフラストラクチャを強化する
AI リスクとガバナンス	• CDAO • 法務／コンプライアンス・リーダー	AI 特有のリスクを見極め、組み込み型／シャドー AI を統制し、規制を確実に遵守する
アーキテクチャとプラットフォーム・レジリエンス	• EA リーダー • SWE／アプリケーション・リーダー	アーキテクチャを近代化し、ゼロトラスト／メッシュ・フレームワークを導入し、技術的負債を削減する
事業継続とプロセスの完全性	• COO • 事業部門リーダー	運用面の準備態勢を促進し、安全なワークフローを組み込み、部門横断的なリスク・エクスポージャを管理する
投資と価値の監督	• CFO	サイバーセキュリティへの投資を統制し、ROI と ODM を評価し、先制的なコントロールのために資金を確保する
ワークフォースの準備態勢と組織文化	• CHRO	企業全体にわたるセキュリティ意識向上、トレーニング、行動の採用を主導する
全社的な連携とガバナンス	• CEO	サイバーセキュリティをビジネスの必須課題として強化し、リーダー層全体のコミットメントを持続させる

CIO とそのチームに向けた 信頼できるインサイト

CIO が価値を提供する方法はAIによって刷新されつつあり、サイバーセキュリティの脅威は増大を続け、コスト最適化のプレッシャーは将来の投資を脅かしています。あらゆる意思決定がかつてないほど重要になっており、信頼できるインサイトが不可欠になっています。

Gartner のグローバル・チームは1万1,000 人を超える CIO や1万3,000 社以上の顧客企業から得たインサイトを集約しています。そして、現在の優先事項／課題／ベスト・プラクティスに関する比類のないレベルの実行可能なインテリジェンスを CIO に提供し、CIO が絶対的な自信を持って判断の妥当性を検証できるよう支援しています。



Gartner は、CIO が以下のような意思決定を速やかに下せるよう支援しています



成長の促進

IT を組織にとっての戦略的な成長要因として位置付けるような、テクノロジー投資を行う



リスクの軽減

市場の変化を予測し、脅威の先手を打ち、戦略上の落とし穴を回避し、考え方を問い直す



コストの削減

新たな効率化の方法を導入し、テクノロジー購入の評価を改善し、より成果の大きい取引を実現するために交渉する

→ CIO が成果を生み出すための戦略的インサイト

Gartner の カンファレンスに参加して、 IT 戦略を前進させましょう

絶え間ない混乱の時代において、CIO は、デジタル・ビジネスモデルを加速させ、未来の働き方を実現し、ビジネスの成長を促進するために、C レベルの幹部層と協力して IT 部門を超えて組織をリードし、自らの影響力を拡大する必要があります。

Gartner の CIO 向けカンファレンスでは、重要な優先課題の解決に役立つ、ワールドクラスのインサイトを入手できます。



ぜひご参加ください

カンファレンス・カレンダーで、
ご自身に最適なカンファレンスを今すぐ確認できます。

→ CIO のネットワークを築く

50 万件以上

顧客企業との年間 50 万件以上のやりとりから得た情報に基づいてキュレーションされたアジェンダ

2,500 人以上

専門的なガイダンスやオンサイトでの個別コンサルティングを提供している、ビジネス・テクノロジー・インサイトのアナリスト

8 万 6,000 人以上

ビジネス・テクノロジー・インサイトの意思決定者や専門家の年間参加者数

1,000 社以上

テクノロジーの最前線にいるソリューション・プロバイダー



Connect With Us

Gartner は、経営幹部およびそのチームに対し、実行可能かつ客観的なビジネスおよびテクノロジーのインサイトを提供します。Gartner のエキスパートによるガイダンスやツールは、組織の重要な課題について、迅速で優れた意思決定と大きな成果の創出を可能にします。

Gartner のサービスに関するお問い合わせ

CIO の成功を支援する Gartner のサービス
gartner.co.jp/ja/chief-information-officer

最新のインサイトをご確認ください



Gartner のコンファレンスにご参加ください
[コンファレンスの最新情報を見る](#)